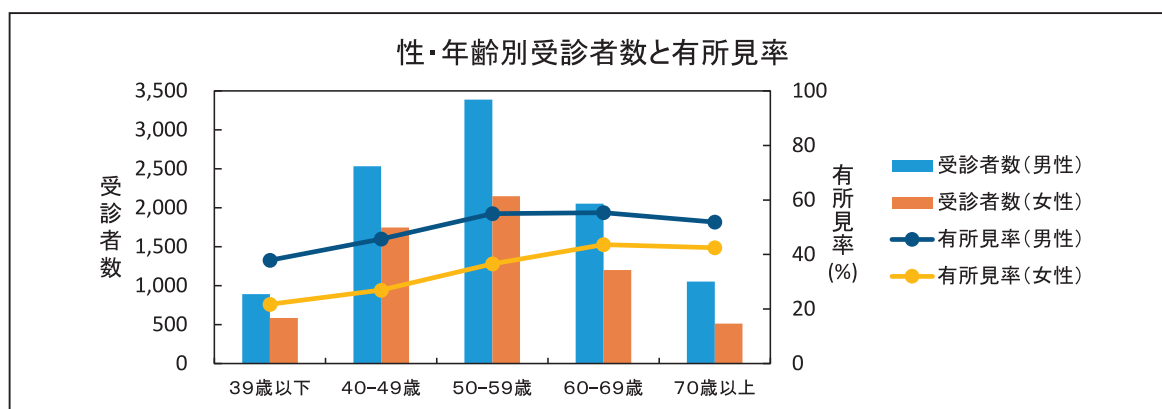


腹部超音波検査

性別	年齢	受診者数	経過観察者数 (C0~C12)	要精検者数 (D判定)	要精検(D判定) 臓器別件数					
					肝臓	胆のう	腎臓	膵臓	脾臓	その他
男性	39歳以下	892	333	2	0	1	1	0	0	0
	40-49歳	2,534	1,130	14	2	4	8	2	0	0
	50-59歳	3,387	1,791	9	2	1	3	2	0	1
	60-69歳	2,053	1,049	28	4	4	8	9(1)	0	6
	70歳以上	1,053	482	10	0	2	2	4	0	2
女性	39歳以下	584	121	3	2	0	1	0	0	0
	40-49歳	1,746	452	4	0	0	2	1	0	1
	50-59歳	2,149	731	7	1	2	2	2	0	0
	60-69歳	1,199	477	10	4	3	1	1	0	2
	70歳以上	513	181	5	1	0	0	4	0	0
計		16,110	6,747	92	16	17	28	25(1)	0	12

赤字はがん発見数

腹部超音波検査の受診者数は16,110人、このうち要治療・要精検者数は92人(0.6%)でした。がん発見数は1人(発見率0.006%)で、膵臓がん1人でした。



受診者16,110人、このうち有所見者数は7,064人(43.8%)。60代男性の有所見率が最も高い結果となりました。

臓器別D判定の所見内訳

(件)

臓器	おもな所見	計
肝臓	腫瘍(9) 血管腫(3) 肝のう胞(3) 肝内血管短絡路(1)	16
胆のう	ポリープ(7) 腺筋腫症(2) 隆起性病変(2) 腫瘍(2) 胆石症(1) 壁肥厚(1) 胆砂(1) 総胆管拡張(1)	17
腎臓	腎盂拡張(11) 水腎症(5) 結石(3) 多発性のう胞腎(3) 腎腫瘍(2) 腎のう胞(2) 腎腫瘍(1) 多発腎のう胞(1)	28
膵臓	膵のう胞(14) 膵管拡張(7) 腫瘍(2) 腫瘍(1) 腫大(1)	25
その他	腹部大動脈瘤(7) 副腎腫瘍(2) 腹水貯留(1) 腹腔内のう胞(1) 腹腔内腫瘍(1)	12

〈治療例〉・膵管拡張(D)→膵臓がんと診断され術前化学療法の後、外科手術の適応となりました。

腹部超音波検査所見

		男性	女性	計	
受診者数		9,919		16,110	
正常者数(A・B) (%)		4,879 (49.2)	4,067 (65.7)	8,946 (55.5)	
有所見者数(C0~C12) (%)		4,785 (48.2)	1,962 (31.7)	6,747 (41.9)	
肝臓	脂肪肝	3,493 (35.2)	951 (15.4)	4,444 (27.6)	
	肝血管腫	707 (7.1)	561 (9.1)	1,268 (7.9)	
	肝のう胞	25 (0.3)	30 (0.5)	55 (0.3)	
	肝限局性脂肪沈着	12 (0.12)	11 (0.2)	23 (0.14)	
	肝石灰化	24 (0.2)	12 (0.2)	36 (0.2)	
	その他	64 (0.6)	25 (0.4)	89 (0.6)	
胆のう	胆石	486 (4.9)	215 (3.5)	701 (4.4)	
	胆のうポリープ	184 (1.9)	77 (1.2)	261 (1.6)	
	胆のう腺筋腫症	239 (2.4)	81 (1.3)	320 (2.0)	
	胆のう壁内結石	142 (1.4)	48 (0.8)	190 (1.2)	
	その他	53 (0.5)	21 (0.3)	74 (0.5)	
腎臓	腎結石	175 (1.8)	39 (0.6)	214 (1.3)	
	腎のう胞	47 (0.5)	9 (0.15)	56 (0.3)	
	腎血管筋脂肪腫	48 (0.5)	90 (1.5)	138 (0.9)	
	腎盂拡張	46 (0.5)	44 (0.7)	90 (0.6)	
	腎石灰化	6 (0.06)	7 (0.11)	13 (0.08)	
	腎腫瘍	2 (0.02)	0	2 (0.01)	
	その他	71 (0.7)	37 (0.6)	108 (0.7)	
膵臓	膵石灰化	33 (0.3)	19 (0.3)	52 (0.3)	
	膵のう胞	62 (0.6)	55 (0.9)	117 (0.7)	
	膵管拡張	6 (0.06)	1 (0.02)	7 (0.04)	
	その他	10 (0.1)	5 (0.08)	15 (0.09)	
脾臓	脾のう胞	8 (0.08)	7 (0.11)	15 (0.09)	
	脾血管腫	9 (0.09)	15 (0.2)	24 (0.15)	
	脾石灰化	2 (0.02)	3 (0.05)	5 (0.03)	
	その他	15 (0.2)	6 (0.1)	21 (0.13)	

肝臓では、脂肪肝が最も高率に指摘され、4,444人(27.6%)に認めました。その他、血管腫1,268人(7.9%)、のう胞55人(0.3%)でした。

胆のうでは胆石701人(4.4%)、胆のうポリープ261人(1.6%)でした。

腎臓では、結石214人(1.3%)、のう胞56人(0.3%)でした。

膵臓・脾臓は他の臓器に比べて所見の少ない臓器ですが、膵石灰化52人(0.3%)、膵のう胞117人(0.7%)、膵管拡張7人(0.04%)、脾のう胞15人(0.09%)、脾血管腫24人(0.15%)でした。